沢田内科医院ニュースレター
第85号

木村友美さんと斉藤優香さん

12月1日から新人が加わりました。弘前市医師会看護専門学校准看護学科の2年生で11月で実習が終わりました。2月9日に准看護師資格試験が待っているのですが、勉強しながら准看護師としてのトレーニングを開始することにしました。資格試験に合格すると注射など看護師として働くことができます。

木村友美さんは、高校を卒業して直ちに准看護学科に進学しています。准看護学科1年生の時に、「卒業生からのメッセージ」という企画が初めて行われました。その中で、糖尿病を勉強して看護学士を目指していた小堀未希さんの発表を聞いて、沢田内科医院で働いてみたいと希望していたとのことでした。

斉藤優香さん（左）と 木村友美さん

斉藤優香さんは、弘前大学人文学部を卒業して社会人を経験した後に准看護学科に入学しています。いろいろ考えた末に進む道を変更して看護師になることを決めたようです。

二人ともすでに推薦入学で看護学科に進学することが決まっています。そして、木村さんは放送大学へ入学して4年後に卒業し、その後で看護学士を目指すことにしています。斉藤さんはすでに大学を卒業していますが、看護専門学校を卒業した後に看護学士を取得することを希望しています。

沢田内科医院では、看護専門学校に在学したり、いつも誰かが勉強している状態を維持してきました。今年からは、看護学士を目指して勉強するという状態までになってしまいました。これで、さらにレベルアップした医療サービスを提供できるものと思っています。

ダブルスクール

専門学校に在学しながら4年制大学に在学して勉強するシステムがあります。むずかしい言葉では併修制度というようですが、ダブルスクールといいます。弘前市医師会看護専門学校では放送大学と連携してダブルスクール制度を作り、この4月にスタートすることになりました。

弘前市医師会看護専門学校は准看護学科が2年、看護学科が3年の合計5年です。ダブルスクールの場合は、4月に准看護学科に入学し、引き続き10月に放送大学に入学します。看護学科3年生で放送大学を卒業する最低条件である4年間の在学を満たします。

放送大学では、主にインターネットを使った通信教育で4年間に64単位を取得します。看護専門学校看護学科の60単位が大学の単位として認められますので、合計で124単位となり、看護専門学校を卒業すると同時に放送大学を卒業することができます。放送大学からは教養学士が授与されますが、その後

論文を提出して試験に合格すると、大学評価・学位授与機構から看護学士が授与されます。

ダブルスクール構想については、弘前大学構内にある放送大学青森学習センターに相談に行きました。詳しいことが解かりませんでしたので、昨年12月に千葉県にある放送大学の連係教育課という部署から弘前に説明に来ていただきました。その後、メールでやり取りして細かい疑問点が解決し、連携して今年の４月からスタートできることになりました。

弘前市内には看護師養成機関が５つあります。弘前大学医学部、弘前学院大学看護学部、弘前医療福祉大学看護学部の３つの大学と、国立病院附属看護学校、それに弘前市医師会看護専門学校の５つです。特に、３つの大学の定員は合計で200人です。国立病院と医師会が40人ずつです。

４年制大学の定員が200人で国立病院の定員が40人ですので、看護師を希望する優秀な高校生に入学してもらうためには、大学に負けない魅力がある看護専門学校にする必要があります。経済的な面では弘前市医師会の全面的なバックアップがありますし、さらに勉強する意思がある学生には看護学士の学位を取得してもらい、４年制大学卒業と同等の資格を身につけて社会に送り出してやりたいと考えています。

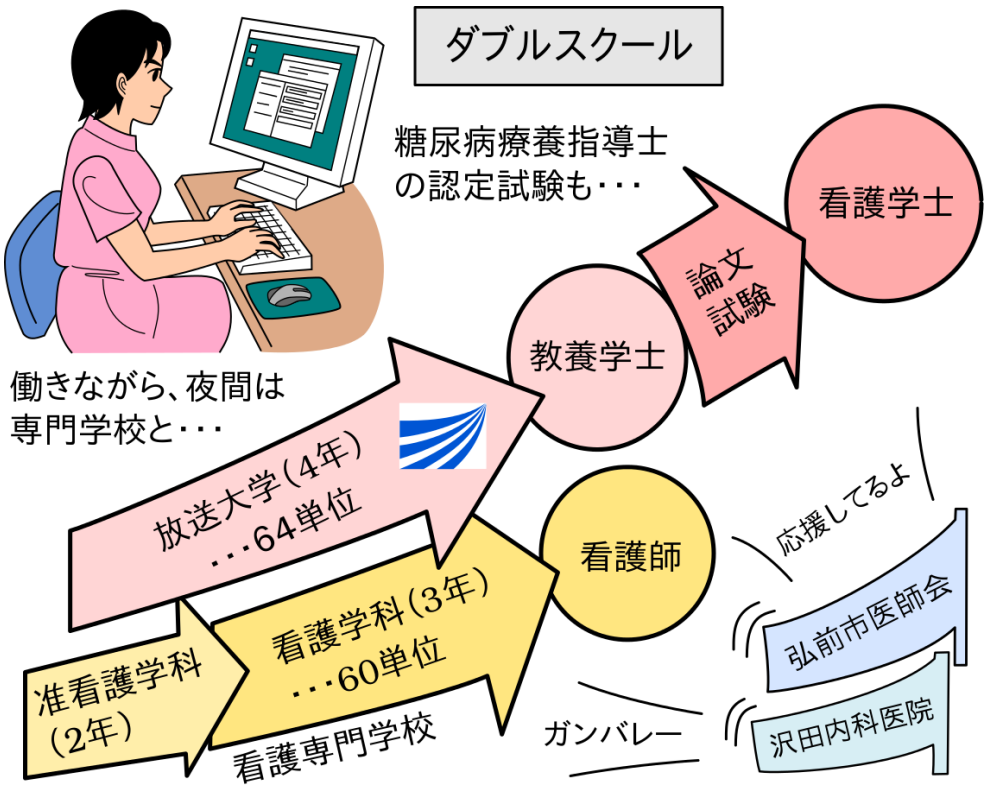
全国的に見ても看護師国家試験の合格者は約53,000人で、そのうち大学卒業者が約16,000人です。社会に出て働いていると、大学を卒業した看護師がたくさんいることになります。また、専門看護師等は大学院レベルに位置づけられる状況にあります。弘前市医師会看護専門学校の卒業生はこの状況にさらされるわけですが、意欲のある学生はこれに対応できる状況が整備されたことになります。

平成21年12月に弘前市医師会付属高等看護学院は専修学校として認定され、平成22年４月に弘前市医師会看護専門学校となりました。教員数や教育環境が整備され、教育内容が大学と同等と認められました。つまり、取得した単位は大学の単位と同等となったのです。この結果、４年制大学に編入することができるようになりました。

この看護専門学校のダブルスクール構想も沢田内科医院で行っていることから出たものです。平成23年３月の卒業生が専修学校１期生となりますが、この時に卒業したのが職員の小堀未希さんでした。すぐに放送大学３年に編入して卒業し、その後、大学評価・学位授与機構から看護学士が授与されました。

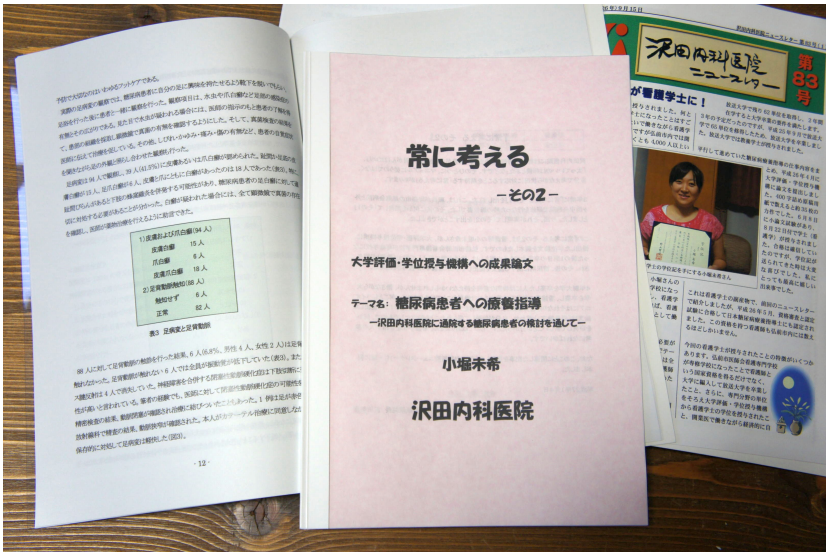
小堀さんが放送大学を卒業する過程でダブルスクール制度の存在を知り、どの程度の負担であるのかも分かりましたので、それを看護専門学校で行ってみようと思ったわけです。何ごとも、いろいろなことを行っている間に新しいアイデアが出てくるものです。

私は弘前市医師会では看護専門学校担当理事で副学校長の役割をしていますので、たくさんの優秀な高校生が弘前市医師会看護専門学校を志願して欲しいと思っています。弘前市医師会では、地域に貢献する看護師を養成するために経済的な面で進学がむずかしい学生を全面的にバックアップしています。



『常に考える　その２』

小堀未希さんが８月に看護学士を授与されたことはすでにお知らせしました。その時に大学評価・学位授与機構に提出した成果論文を製本しました。３年前に澤田美紀子さんと小堀未希さんが青森慈恵会病院と外ヶ浜中央病院で研修をした時の報告書を「常に考える　その１」として製本しました。その時に、何か成果があった時に「その２」を期待して「その１」としました。今回はその続きということになります。



常に考える　その２

大学評価・学位授与機構に提出する学位論文は、何か新しいことが分かったという研究論文ではなく、自分の専門分野について特に学んだことをまとめて論文にするものです。小堀さんは糖尿病をテーマとして勉強してきましたのでその内容をまとめて提出しました。糖尿病患者さんを指導する際に、腎症や神経障害などの合併症について継続的に調べていましたので、その内容もレポートすることができました。

12月末の年末休暇を利用して、市販の製本器を使って小冊子にしてみました。状況を書いたニュースレターもとじ込みましたので、後で振り返った時に、学位を申請した状況も分かるようにしました。内容は、沢田内科医院のホームページで公開し、いつでも読めるようにします。看護学士を申請する人の参考にもなると思います。

看護学士を授与されたことの余波がまだありました。私たちが医師会に所属するように、看護師は看護協会に加入しています。日本看護協会は「看護協会ニュース」という機関紙を毎月発行していますが、放送大学では、看護師のキャリアアップのためにこの機関紙に広告を出しています。平成26年12月の「看護協会ニュース」には小堀未希さんが看護学士を授与されたことが掲載されました。

小堀さんの名前が全国的に知れ渡っただけでなく、弘前市医師会看護専門学校と沢田内科医院の広告にもなりました。簡単にはできないことを成し遂げると、いろいろなところから注目されるものですね。

看護協会ニュース

平成２６年の医院の状況と忘年会

平成26年の仕事で大きく変わったことは、ピロリ菌の治療で忙しかったことです。ピロリ菌の治療は胃と十二指腸潰瘍の患者さんにだけできたのですが、昨年春から慢性胃炎の患者さんでも行うことができるようになりました。

平成26年１年間で、約1,900件のピロリ菌の検査を行い、実際にピロリ菌の治療をした人は約600人でした。最終的にピロリ菌を除菌できなかった人が５，６人います。胃内視鏡検査は1,839件でした。ピロリ菌がいなくて胃粘膜萎縮がない人たちは胃癌になる可能性が非常に低いので、胃がん検診の意味での胃内視鏡検査は３年に１回としています。胃内視鏡検査数は、これ以上増えると外来診療に差し支える状態です。

もう一つ診療する上で重要視している大腸がん検診は1,228件でした。114人が便に血液が混じっていると判定され、８人に大腸癌が見つかりました。まだ最終的な結果が出ていない人もいますが、ほぼ例年と同じくらいの大腸癌が見つかっています。

毎年、最後の診療日に忘年会を行っています。この日にはみんなが集まり、何年か前から一人ずつその年の感想を述べたり新年に向けた決意を表明したりします。今年は12月27日でした。菊池千枝さんが夜勤で欠席、井上真利子婦長が急に体調不良となり、スマホでメッセージでの参加となりました。その他の人たちは全員出席でした。

医療機関ですから『Do no harm（害を与えない）』が基本的な原則です。今年も大きな事故もなく過ごしました。肉親を亡くした人や大きな病気に見舞われた人もいましたが、職員自身は特別な事故もなく、仕事の上でも事故もなく過ごせたことが一番よかったことでした。いいことはたくさんあって書き切れません。

新人職員は、１月から給食の笹森花菜さん、12月１日から斉藤優香さんと木村友美さんが加わりました。退職した職員はいませんでした。これで私も含めて職員数は29人となりました。今年は開業してから20年です。沢田内科医院はまだ発展途上です。

発　　行：　〒036-8261 青森県弘前市茂森新町1-6-4　沢田内科医院　院長　沢田美彦
ホームページ：　http://www.sawada-naikaiin.com/　TEL 0172-37-7755　FAX 0172-37-7788